

## 209名の卒業生が巣立っていきました！！

3月1日(土)9:30より遺愛アリーナで、高校卒業礼拝式が挙行されました。厳粛さのなかにも暖かい雰囲気があり、卒業証書授与では209人の卒業生1人1人に「おめでとう！」と声をかけながら証書を手渡しました。手渡しながら1人1人の表情を見ていたのですが、ほとんどの卒業生がしっかりとこちらの目を見て受け取っていて、彼女たちの目には希望の光が宿っていました。遺愛の生活に心から充実感をおぼえ、未来に希望をもって巣立っていくとの実感を持ちました。

卒業の2日前に恒例の卒業アンケートをとりました。10年以上続けている定点観測ですが、今年もまた嬉しい結果でした。209名の高校3年生が答えてくれたアンケートで「遺愛の生活全体を通してとても良かった・良かった」と回答してくれた人が95.1%で過去最高でした。例年ですと85%くらいなので10ポイント以上高くなりました。行事別では、「とても良かった・良かった」が修学旅行で95.9%、遺愛祭で93.5%、体育祭で89.6%、クリスマス礼拝が87.5%でした。クリスマス礼拝については今まで80%を越えたことがありませんでしたが、今回初めてこえました。各学年の歌、ハンドベル、音楽部どれも素晴らしかったのですが、やはり最後のハレルヤコーラスだったと思います。全員でつくりあげた合唱が大きな感動を引き出し、このような数字になったのだと思います。

これらの満足度の高さは、やはり彼女たちが一生懸命、遺愛の学校生活に関わったからです。遺愛はとても行事の多い学校ですが、それらに積極的に参加しつくりあげながら、しかも勉強も一生懸命取り組み、自ら充実させたからです。「後輩達に遺愛生活を充実させるために何かアドバイスをして下さい」という質問に対して、多くの卒業生が自らの経験から「何事にも一生懸命取り組むこと」「行事や部活動に積極的に参加すればするほど面白い」「積極的に関わっていくほど充実できると思います」「すべてに全力で、勉強も、遊びも、行事も！」「めんどくさがらずになんでもチャレンジすること」などをあげていました。最後に遺愛が女子校であることに対する評価ですが、入学前は62.3%の生徒が少なからず抵抗感をもって入学してきましたが、卒業の時は92%の生徒が「とても良かった・良かった」、7%の生徒が「ふつう」だと答えていました。世間一般が持つ女子校に対するイメージとは全く違う女子校生活が遺愛にはあります。

2014年3月3日



卒業証書授与



答辞の様子